

## 令和5年度第1回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会会議録

報告	(1) 道の駅整備事業について
議題	(1) 2022年度茅ヶ崎市景観計画年次報告書について  その他
日時	令和5年10月30日(月) 14時00分～15時40分
場所	茅ヶ崎市役所本庁舎4階 会議室2
出席者氏名	<p>(委員)</p> <p>水沼会長、高橋委員、清水委員、 三友委員(WE B会議により出席) 深谷委員(WE B会議により出席)</p> <p>(欠席委員)</p> <p>荒井委員、菊地委員</p> <p>(事務局)</p> <p><b>【都市部】</b> 後藤部長 <b>【景観みどり課】</b> 田代課長、石下主幹、二階堂主任、大竹主任</p> <p>(事業担当者)</p> <p><b>【産業観光課】</b> 稲葉道の駅整備推進担当課長、富士主幹 関谷課長補佐、島崎主査、西之宮副主査 <b>【拠点整備課】</b> 沼田主幹 <b>【建築課】</b> 中村課長補佐</p> <p>(その他)</p> <p><b>【大和リース株式会社横浜支社】</b> 三森</p>

	<p>【株式会社関・空間設計】三浦、作山</p> <p>【株式会社ファーマーズ・フォレスト】上邑、石井</p>
会議資料	<p>次第</p> <p>報告（１）</p> <p>資料１ 道の駅整備事業について</p> <p>議題（１）</p> <p>資料２ ２０２２年度茅ヶ崎市景観計画年次報告書について</p> <p>その他</p> <p>資料３ 令和５年度景観まちづくり審議会 今後の予定</p>
会議の公開・非公開	公開
非公開の理由	
傍聴者数 (公開した場合のみ)	１名

(会議録)

○田代課長

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまより、令和５年度第１回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会を、WEB会議を併用し開催いたします。

私は景観みどり課長の田代です。よろしくお願いいたします。

それでは、審議に先立ちまして、確認事項と注意事項等をお伝えいたします。

まず、本日の審議会の委員の出席状況でございますが、荒井委員、菊地委員より欠席の連絡をいただいております。そのため、本日は委員７名のうち５名に出席をいただいております。よって、茅ヶ崎市景観まちづくり審議会規則第６条第２項に規定される過半数の出席を充足しており、本日の会議が成立していることをまずご報告いたします。

次に、通信状況の確認をさせていただきます。本日は都合により、三友委員、深谷委員のお二人がWEB会議により出席いただいておりますが、こちらの映像及び音声がかかりと受信できているか、確認をさせていただきます。

まず三友委員、こちらの声が聞こえましたら応答いただきますようお願いいたします。

○三友委員

三友です。よろしくお願いいたします。

○田代課長

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

次に深谷委員、聞こえましたら応答いただきますようお願いいたします。

○深谷委員

深谷です。よろしくお願いいたします。

○田代課長

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、議事録の作成について説明いたします。本日は、机上のマイクを通してA I 議事録システムにより、リアルタイムで作成しております。発言の際には、本体下の丸いボタンを押していただき、マイクから10センチ以内程度に口元を近づけて発言していただきますよう、ご協力をお願いいたします。また、発言が終わりましたら、再度ボタンを押してオフにしていただきますようお願いいたします。

次に事務局の紹介です。

[ 事務局の紹介及びあいさつ ]

また、報告(1)「道の駅整備事業について」説明を行う事業担当者の紹介です。

[ 事業担当者の紹介及びあいさつ ]

よろしくお願いいたします。

次に傍聴者の確認です。本日は1名の傍聴の申し出があります。御承知おき願います。

それでは、最後に本日の資料の確認をいたします。まず初めに本日の次第が1枚。続きまして、資料1と表示している報告(1)「道の駅整備事業について」の資料がひとつづり、資料2と表示している議題(1)「2022年度茅ヶ崎市景観計画年次報告書について」の資料がひとつづり、資料3「令和5年度景観まちづくり審議会 今後の予定」の資料が1枚となります。

以上、4点を本日の資料としてお配りしています。お手元に資料をご用意いただいているでしょうか。

それでは、これからの議事進行につきましては、水沼会長にお願いします。会長よろしくをお願いいたします。

○水沼会長

それでは、審議会を始めます。どうぞよろしくお願いいたします。本日は案件が2件ございます。委員の皆様よろしくお願いいたします。

報告(1)「道の駅整備事業について」担当から説明をお願いいたします。

○産業観光課

産業観光課より、道の駅整備事業の経緯等について簡単にご説明させていただきます。

本市では、さがみ縦貫道路の開通を契機として「茅ヶ崎を通過点にさせない」ための取り組みとして、神奈川県との一体型の道の駅の整備に着手しております。平成28年3月策定の道の駅基本計画では、「ALPHA 湘南初！茅ヶ崎発！潮風薫る“ちがさき愛” いっぱいの交流拠点」をコンセプトとして掲げ、平成31年7月のオープンを目指し取り組みを進めてきたところです。

平成29年度には、こちらの景観まちづくり審議会において、事業進捗や設計について2度ほどご報告をさせていただいた経緯がございますので、ご承知の委員もいらっしゃるかと存じます。

しかしながら、その後、本事業については、用地取得の遅れを理由として、オープン時期を令和4年3月へと見直すこととなります。また、この延伸の間には、当初予定していた従来方式よりも効果的、効率的な事業手法へと見直すための比較検討を重ねてまいりました。

検討の結果、本市にとって最適な事業手法として、公共の資金調達により設計、建設、維持管理・運営を一括して発注するDBO方式がコスト面、またサービス向上の観点からも最適であるという評価結果が導き出されました。

その結果を受け、令和3年1月にこのDBO方式を採用することについて市議会において承認をいただきました。また同時に、この時期は、新型コロナウイルスがまさに猛威を振るい出し始めた時期でもあり、未知のウイルスに対して、まずは市民の生命財産を守るということを最重要事項とする本市全体としての判断のもとで、道の駅のオープンについては令和7年7月と、2回目の事業延伸することとなりました。

DBO方式では、民間の創意工夫を活用する観点から、求めるサービスを性能で規定することとなります。この延伸の間には、サービス水準を性能規定した要求水準書や審査基準書を策定し、令和4年度の下半期から事業者募集に着手、外部有識者からなる選定委員会において最優秀提案を採択し、本年6月の市議会において工事請負契約についてご承認をいただいたところです。

今後の主なスケジュールとしては、今年度中に実施設計を完了し、来年度当初から建設工事に着手し、約1年間の工事期間、その後の開業準備期間を経て、令和7年7月にオープンという流れを想定しています。本日は、事業契約以降、市民ワークショップ等を経て基本設計がおおよそまとまりつつあることから、本審議会にてご報告させていただくものです。なお、本日いただきましたご意見を踏まえ、12月の審議会にてあらためてお諮りさせていただくことを予定しております。

先ほどご紹介にもありましたとおり、本日は整備運営事業者である「ちがさき未来プロジェクトグループ」から、代表企業である大和リース株式会社横浜支社、設計を担当する株式会社関・空間設計、維持管理運営を担う株式会社ファーマーズ・フォレストにお越しいただいております。この後、資料の右上のNo.1～4については市側より説明をさせていただきます。No.5以降の設計の考え方などにつきましては、ちがさき未来プロジェクトグループよりご説明させていただきます。説明の担当を変わらせていただきます。

#### ○産業観光課

それでは、早速資料に基づきましてご説明をさせていただきます。時間の関係上、割愛しながらご説明をさせていただきます。

まず1番、景観まちづくりアドバイザー意見一覧表をご覧ください。今回、設計するにあたりまして、茅ヶ崎市景観まちづくりアドバイザーであります戸田先生、また、景観まちづくり審議会の委員もされています三友先生にご助言をいただきながら、設計を進めてきたところがございます。後ほど、こちらと合わせて平面図等をご覧くださいと思います。

2番目、計画概要等をご覧くださいでしょうか。

道の駅の整備地等が記載されておりますが、全体敷地面積は約1.5ヘクタールとなっております。また、建物が2棟、地域振興施設と休憩施設それぞれを建築する予定となっております。

スケジュールに関しましては、令和7年7月オープン予定となっております。今年度設計業務を行いまして、来年度建設工事、そして3か月の開業準備期間を経て、令和7年7月のオープンを予定しております。

また、整備地周辺には、柳島スポーツ公園、柳島しおさい公園、柳島キャンプ場と様々な公共施設が点在しているようなエリアとなっております。

続いて3番の資料、道の駅整備地の周辺及び景観計画での位置付けの資料をご覧ください。

まず、景観計画では、海岸地域景観ゾーンに位置しておりまして、また景観ベルト、景観ポイント等が記載されております。

なかでも景観ポイントにつきましては、柳島が指定されており、景観計画の中では、柳島は道の駅以外にも柳島しおさい公園、柳島スポーツ公園、柳島キャンプ場が位置し、多くの方の憩いの場を形成しており、これらの施設で海岸地域の文化を味わえる空間を創出することが景観形成の方針とされております。

また、周辺状況につきましてはですが、写真の2番をご覧くださいと、圏央道の終点である茅ヶ崎海岸インターの料金場付近から、柳島スポーツ公園と道の駅が眺望できるよ

うな立地にございますので、車を運転する方、助手席に乗られている方から、よく見える位置に位置しております。

また、7番の写真をご覧くださいますと、写真ではわかりづらいのですが、敷地からは大山の山並みや、富士山の上部が望めるような立地環境にございます。

また左上の3番の写真をご覧くださいますと、圏央道から降りてきて道の駅の敷地に向かうすぐのところ、現在少し広い空地となっております。こちらにつきましては、産業観光課でポケットパークを整備する予定となっております。

次の資料の4番をご覧ください。

今お話ししましたポケットパークですが、道の駅の敷地ではございせんが、圏央道から降りてすぐの位置というところで、茅ヶ崎に来ていただいたことがわかるようなサイン、少し明るい植栽をしつらえたポケットパークを考えております。

まだ検討中で、少しずつ計画が変わっているのですが、現状ですと、シュロの高木を5本、また、低木のニューサイランという樹種を植栽しようかと考えております。

また、少し腰のかけられるベンチや、先ほど申し上げた茅ヶ崎の案内表示になりますが、この辺を現在詰めている段階ですので、今後デザイン性も含めて、確定していきたいと考えております。

それでは5番以降の資料につきまして設計コンセプトや図面につきまして、設計業者である株式会社関・空間設計の方々からご説明いただきたいと思ひます。

#### ○事業者

それでは株式会社関・空間設計から引き続き、ご説明いたします。

まず、敷地内の計画についてということで、全体の計画コンセプトについては、茅ヶ崎の誇りと魅力をつなぎ、地域のブランドシンボルとなるゲートウェイとしての道の駅ということでございます。

地元の方も、観光客にも利用しやすい立地特性を生かした湘南・茅ヶ崎のゲートウェイとして、茅ヶ崎のヒト・モノ・コトが、この道の駅を通じて繋がり、茅ヶ崎のブランドを作り上げる場になることを目指します。左下の方に書いてございますが、ゆったりとした雰囲気、休憩機能、茅ヶ崎のいいところを知ってもらう情報発信機能、Choice!CHIGASAKIなどのブランドをより盛り上げる地域連携機能、この3つを軸に計画します。

右下になりますが、地域の声を伺い、計画や運営に反映するため、ワークショップを行い、継続的な地域との連携につなげていきたいと考えております。

続きまして6番の資料をご覧ください。配置計画になります。いつでもふらっと訪れやすい安心安全な計画を基本とします。

右側に大きめの配置図がございますが、そちらをご確認ください。国道134号と市道の鉄砲道に挟まれた立地特性を活かしまして、地域振興拠点は交差点に面して配置をしま

す。配置図内のオレンジ色の部分になります。これにより視認性が高く分かりやすい、かつ内部のにぎわいが道路から見える計画とします。

駐車場は向かって右側、国道134号と鉄砲道の両方からアクセスしやすく、かつ、まとまったスペースを確保できる東側に整備をします。

それから敷地の中央に交流広場を整備し、駐車場からの人々を迎え入れる計画とします。

緑色で示した24時間利用可能なトイレ等の休憩施設、緑色の部分になります。こちらの休憩施設は、駐車場からアクセスしやすい位置に整備します。

資料の中央部分にございますが、駐車場周りには、サーフボードの形をしたサインを設置して、茅ヶ崎らしさを演出します。資料の中央部分にございます。

続きまして、7番の資料をご覧ください。こちら平面計画になります。

左上の方に模式図がございますが、地域振興拠点は二階建てのコンパクトな計画とし、内部のにぎわいが国道や広場から見える計画とします。

それから、下の方にパースがございます。交流広場の部分のパースになります。

交流広場については、にぎわいの中心となり、様々なイベントが行えます。広場に面して大階段やテラスがあることで、観覧席になると、立体的な屋外空間を創出します。

それから右上の方にも、交流広場の平面図がございます。日常的にはこちらの交流広場にはキッチンカーが乗り入れたり、ペットと一緒に楽しめるドッグラン、休憩、飲食のできるベンチを整備することで、多様に利用できる計画として考えています。

続きまして8番の資料をご覧ください。全体の景観デザインのコンセプトです。

湘南・茅ヶ崎の風景に、新しいシンボルとなる道の駅をデザインします。

右側に、茅ヶ崎ならではの道の駅のデザイン要素について示しております。サザンビーチやサーフボード、海辺の木柵などをデザイン要素として取り入れ、茅ヶ崎ならではの道の駅デザインを創出します。

左下に建物のファサードデザインを載せています。

建物のファサードは、交通量の多い国道134号に対しては、商業施設としてのにぎわいを感じられるオープンな表情、ガラスと壁面を組み合わせた、リズムカルで動きのある内部のにぎわいを表出させるようなデザインとします。

駐輪場はあえて建物の前面に整備しまして、利用者の使いやすさに配慮しつつ、ロードバイクでの利用も多く想定されることから、それをディスプレイとして見せる計画としています。自転車の利用者が多い茅ヶ崎らしさを見せるような計画として考えています。

それから、その下の立面図になります。

茅ヶ崎の歴史ある街道である鉄砲道側は、優しい表情の木のスクリーンに掲示スペースを組み合わせ、地域の良いもの、良いことをアピールできる展示スペースとして活用しま

す。

それから、資料の右下になります。外構デザインです。

外構は、湘南・茅ヶ崎の象徴である美しい海をモチーフにして、敷地全体や駐車場を海に見立てまして、植栽の島と栈橋としての歩行者動線をデザインします。

植栽は姉妹都市ホノルルも感じさせるような南国風の植栽を取り入れ、茅ヶ崎の新たな風景を創出します。

続きまして、9番景観計画との整合性についてです。

これまで説明した内容と重複する部分以外の部分についてご説明いたします。

竣工から年数が経過しても景観性を保つことができるように、維持管理や耐久性に配慮した計画とします。

具体的には、この資料の中の3番に示したように、軒を出すことで、外壁面を保護するなど、汚れにくい計画とする。それから木材など、経年変化が味わいとして楽しめる材料を検討しています。

それから9番にも記載してございますが、塩害がありますので、それに強い材料を選定することなども考慮していきたいと思います。

それから12番照明については、利用者の安全性を確保するための照度を適切に確保しつつ、国道や市道からの出入口付近は、植栽へのスポットライトや、足元のガーデンライトなどで夜間景観を演出する計画とします。

それから13番色彩については、条例上の海岸地域景観ゾーンであることを踏まえ、明度は高め、彩度は低めの明るく優しい色合いを計画しています。

具体的には落ち着いたライトグレー、それから、木ルーバーの天然木の自然な表情をベースにしまして、植栽の色合いや、訪れる人たちのにぎわいが入るようなデザインとします。

続きまして10番の資料をお願いいたします。ここから具体的な計画図面でご説明いたします。こちらの図は、敷地内の動線計画を示しています。

国道134号からの出入口は、交流広場に面し、敷地内の全体構成がわかりやすく、にぎわいを感じやすいメインの顔となる空間になります。

鉄砲道からの出入口にはみちかど広場を整備します。図面の右上のところになります。地域の方々の日常的な交流、憩いの場を作るような計画となっております。

また、図面の左側交差点からの視認性が高い、西面の表情も重要なポイントであると考えておりますので、内部のにぎわいがより感じられるようなつくりをしたいと考えています。

次に資料11番平面計画、建物周りの動線計画です。

交流広場に面して、各施設の出入口が面するわかりやすい計画としています。



障がい者用の駐車場から建物へひさしを連続させ、雨の日も濡れずにアクセスできる計画となっています。

それから12番2階の平面図になります。

テラスや大階段が広場に面して、開かれた計画になっております。国道からの利用者に対し、にぎわいを感じられる空間構成となっております。

続きまして、次のページ資料13番をお願いいたします。

こちら屋根伏図となっております、屋根の形状はシンプルな形状としておりますが、今回の特徴である、交差点に向かってすぼむような形を活かした形で、軒を大きく出す大屋根のデザインによって、アピール性のあるデザインにしたいと考えています。

次のページ資料14番立面図、断面図になります。

これまでの説明と重複しますが、国道134号側は、壁と開口部をランダムに配置したリズムカルでにぎわいを感じる表情、鉄砲道側は、木ルーバーと情報掲示板で、茅ヶ崎をPRするギャラリーとしてデザインします。

それから、図面の3段目の左側に、広場側の立面図がございます。

交流広場に面した東面はガラスを主体とし、交流広場と連続するオープンなファサードとします。

続きまして、15番緑化計画になります。

こちらに関しては、茅ヶ崎市のまちづくり条例に準じて、本計画では敷地全体で15%の緑地を確保する計画としております。詳しくは左下の表をご覧ください。

続きまして16番植栽計画になります。

先ほどの内容と一部重複するところがありますが、ご説明いたします。

植栽のコンセプトとしまして、敷地周辺施設と調和し、茅ヶ崎らしさ、ホノルルらしさを創出する植栽計画としました。

駐車場や、この敷地全体を海として見立てて、島となる植栽帯、そこに架かる栈橋となる安全な歩行空間、船となる建物、これら4つの構成を基本としています。

鉄砲道沿いや、敷地の東側、こちらに関しては周辺施設の樹種との調和を図るために、在来種を中心とした樹種を配置しております。

また、国道沿いや、駐車場の中央を通るのんびりパスなどは、施設の顔となり、商業施設としてのにぎわいを創出するため、ハワイらしさ、ホノルルらしさを表現した南国風の樹種を配置します。

敷地内に適材適所でコンセプトを変えながら、調和するデザインとして計画します。

次に17番植栽計画に関しては、詳しい樹種等を記載しております。

在来種を中心とした自然環境と調和する樹種としては、オオシマザクラ、サルスベリ等を配置しております。

逆にハワイらしさを表現する南国風の樹種としては、シュロ、オーレア、コルディリネ、ニューサイラン等を計画しております。

次に18番色彩計画となります。次のページの19番と合わせて、ご覧いただければと思います。

本計画地は、海岸地域景観ゾーンに指定されておりますので、色彩のマンセル値としては、黄色や赤系のYR、グレー系であるNを基調とした色彩計画とします。

木ルーバーや緑地帯をアクセントとして表現させるために、交流広場や外壁などは、グレー系のN8、N7を基調とした色で考えています。

しかしながらグレー系ではありますが、素材感のある建材等を使用しまして、のべとした印象を与えないような工夫をしたいと考えております。

また、駐車場ですが、車室内歩道（駐車場内の歩行者通路）の色については今表現されているベージュ系の色で記載しておりますが、交流広場とのデザインを統一したいと思いますので、ここからさらに変わる可能性があります。今はグレー系の色とする方向で検討中であります。

また、車両出入口車道部のカラー舗装について、赤、黄色、青で色分けしておりますが、これは警察協議等によるもので、車両を安全に誘導するための措置として、わかりやすい色で明示することとなっております。

その次、20番、21番、こちらが外観パースのイメージになります。

交流広場に面する東面、国道からの視認性が非常に高い西面に関しては、アピール効果の高いメインファサードとなるため、ガラスを主体として、内部のにぎわいを見せ、動きのある斜め柱の構造体で、目を引くデザインとしています。

西面に関しては、内部から富士山や花火が望めるビュースポットになります。

また、軒は鉄骨の屋根をそのまま見せ、東西面に大きく張り出した軒が人々を迎えいれます。

その次に、サッシの色等、今はシルバーで表現しておりますが、黒やダークグレーというところも現在検討中です。

こちらに関しては全体の色味を統一し、抽象的な表現で進めるのか、明るいベース色の中に、黒系のサッシでメリハリをつけたデザインとするのか、今後さらに検討を進めて参りたいと思っております。

その次、22番の外観デザイン計画になります。

天井や壁には木ルーバーが連続して、茅ヶ崎らしさの一つである、木柵を表現しています。商業施設らしい明るく開放感のある計画としています。

最後に、23番以降になります。

私たちの提案として、ワークショップを継続的に実施しまして、市民からの愛着を目的

とした設計、運営等の様々な側面からアイデアをもらうような計画としております。

実際に、26番の資料を見ていただきますと、7月下旬ごろ、第1回設計ワークショップを実施しまして、延べ約400人の方々に参加していただき、意見やアイデア等をいただいております。

その次、27番、28番に関しては、いただいた意見の一部になりますが、景観、その他建築計画等について、また、運営等についても意見をたくさんいただいております。

これらの意見を反映させて、来月第2回目のワークショップも開催することが決定しておりますので、継続的に市民の皆さんから意見やアイデアを頂戴する機会を、これからも設けていきたいと考えています。

以上になります。ありがとうございました。

#### ○水沼会長

説明ありがとうございました。それでは早速ですけれども、質疑応答に移りたいと思います。

報告(1)「道の駅整備事業について」何かご意見ご質問等はございますでしょうか。

なお、これについては最初に色々なプロセスのお話がございますが、委員の中にはご承知の方もいらっしゃると思いますが、色々なプロセスを経て、今具体的な計画としてここに提案されているものですので、ぜひ、ご意見等よろしくお願ひしたいと思ひます。

WEB参加の三友先生、深谷先生ありましたら、お願ひいたします。こちらの会場の委員の方からでも、いかがでしょうか。

では高橋委員お願ひいたします。

#### ○高橋委員

ご説明ありがとうございました。高橋です。

全体的に、ワークショップを重ねたり、意見収集を積極的にやっていく姿勢が、非常に評価できることだと思っております。どうしても期待と批判が入り混じってしまう展開になると思ひますので、何とか踏ん張りながらやり遂げていただければと思っております。

そのうえで、大きいところというか、資料を拝見しての印象は、「鉄砲道ギャラリーが肝になる、頑張っほしい」となります。

というのが、現状柳島スポーツ公園が、ぽつんと非常に寂しい状況になってまして、道の駅はそこと一体的な交流のにぎわいを生み出すということをイメージしていくものですが、計画を拝見すると、今の鉄砲道のところが裏口感が強いんですね。

柳島スポーツ公園の駐車場があそこにあるという部分もありますが、道の駅も、ルーバーで隠れてるとはいえ、室外機があつて、鮮魚加工室があり、あとごみ置場もあつてとどうしてもこの鉄砲道沿いに裏方の機能が集中してしまう。もちろん臭いなどは、注意していただけるとは思ひのですが、やはり鉄砲道の入口部分、茅ヶ崎市にとっての特徴的な歴

史のある鉄砲道への入口の部分が、裏道感が強いという印象を受けてしまいます。

この鉄砲道ギャラリーが、今後どのような運用になるかはわからないのですが、もし可能でしたらワークショップなどで、柳島スポーツ公園と一体的に使える印象作りができるようなアイデア出しなども行っていただきたいと思いますし、ここまでくると設計を変えることは大変だと思いますので、運用の部分で、直せる部分と盛り返せる部分を見いだしていただきたいと思いますと思った次第です。

あと、2つ目が、これは需要予測から仕方ないと思うのですが、敷地の6割程が駐車場ということで、どうしても空間イメージにとって大きい部分を占めます。

そこで、使われていない時に、閑散としないようなソフトのプログラムや、あとは少し難しいかもしれないですが、最近アメリカなどで、アスファルトアートということで、アスファルトの無機質な印象をなくしていくための取り組みなどが増えていますので、このあたりもクリエイティブに何か取り組みができればと思った次第です。

あと小さいところで、ポケットパークについて、協議のうえでベンチなど置いているようになっているが、暑いときに使われるかなと、少し不安になるような緑の量などがありましたので、ここが殺風景にならないような、とりあえずベンチはあるけれども人がいないことにならないような工夫があればと思った次第です。以上になります。

#### ○水沼会長

高橋委員ありがとうございました。

今3点ご指摘があったかと思います。

1点目が鉄砲道ギャラリーのあり方、裏側感の強いところをどう解決していけるのか。

2点目が駐車場の使われていない時を含めた新たな提案があるのかどうか。

3点目がポケットパークのあり方です。

1点目については、景観アドバイザーの方からも確かご指摘があって、今後の検討課題にもなっていると思うのですが、今の時点で、この3点についてお答えがあればよろしく願いいたします。

#### ○事業者

はい。ご意見ありがとうございます。

設計の株式会社関・空間設計から、まず1点目の鉄砲道側のデザインについてお答えします。

今考えていますのは、まず東側から地域の方々が訪れた時の第1の出入口になる、みちかど広場のデザインについて、これから詰めていきたいと思っております。

ここは地域の人たちにとっても1つの顔になりますので、地域の人たちが交流したり憩いができるような場所であり、かつ周辺の農地の方々も、ここでひと休みできたり、交流が生まれるような仕掛けとして、広場のしつらえ、植栽、ベンチなど、計画について考え

ていきたいと思っています。

またその隣の車両の出入口の間に挟まれた島状の植栽帯、ここについても、鉄砲道側の重要な顔の1つになると思いますので、同様にデザインを詰めていきたいと考えております。

それから、鉄砲道ギャラリーのルーバーについては、ご指摘のところを我々の方でも感じているところでした。

木のルーバーで、自然素材を使って優しい表情というところもあるのですが、面もかなり大きいところなので、このルーバーの面を部分部分で分割して、分節したようなデザインにしつつ、分節したところに植栽を入れるなどして、表情に変化があるような、ずらっと一面で、圧迫感のあるような境界とするような作り方ではなくて、もう少し境界を和らげるようなデザインにしたいと考えております。

またご指摘のあったこのギャラリーの掲示板、ショーウィンドウの作り方、あと活用の仕方等については、今後ワークショップも重ねていきますので、その中でも、市民の方々、それからキーマンの方々と具体的な使い方、運用の仕方について検討していきたいと考えております。

#### ○事業者

株式会社ファーマーズ・フォレストから駐車場のところについて回答いたします。

先ほど駐車場が使われていない時期をうまく活用できないかのご指摘をいただきましたが、正直その視点というよりも、なかなか渋滞が多いところであるため、どう駐車場をうまく回すかという視点が強くありました。先ほど海外ではアスファルトアートが盛んに行われているという事例を伺いましたので、そういった事例も参考にしながら、もちろん繁忙期は車で溢れているところもありますが、夜間ですとか早朝ですとか、駐車場に車がない時ももちろんありますので、そういったところも楽しんでもらえるような運用上の工夫を今後考えていきたいと思っています。

#### ○産業観光課

ポケットパークにつきまして、産業観光課よりお答えさせていただきます。

委員ご指摘のとおり、ポケットパークにつきましては、西側から市に訪問される方の玄関口になるということで、寂しくならないように、樹種や植栽の検討を進めて参ります。

特に、現在検討しておりますシュロやニューサイランについては、実際に植える間隔や、地盤のところには、白い石灰岩系の碎石を敷き詰める予定になっているため、そのようなバランスのとれたものにして、涼しげな空間になるように検討して参ります。

以上でございます。

#### ○水沼会長

ありがとうございました。高橋委員よろしいでしょうか。

○高橋委員

はい。ありがとうございます。

○水沼会長

他にご意見ご質問ございますでしょうか。では清水委員お願いいたします。

○清水委員

ご説明どうもありがとうございました。

資料を拝見して、すごく苦勞されているなというのわかりますし、いろいろ考えてくださっていることがわかる資料だったので、一生懸命読ませていただきました。

その中で、私はこの茅ヶ崎生まれ茅ヶ崎育ちで、この周辺について、いろいろと知識もあることからお伺いします。

先ほど、茅ヶ崎は自転車が多いということで、ご理解されてるということは分かったのですが、東側からの地域の人があるというルートで、おそらく、市の中心から離れているので、自転車で来る方も多と思います。そのような方が東側から来た時に、自転車置き場は国道の方に全部固まっているので、どのように自転車を停めて、どのように入ってくるのか、動線について伺いたいという点が1つです。

もう1点が、茅ヶ崎の景観として、屋外で食事をしているという風景が非常にいろいろなところで見られるということがありまして、この茅ヶ崎市の景観計画の中でも、屋外の生活を楽しんでいる人々の姿が様々な場所で見えることというポイントがあると思うんですね。

今回の場合、交流広場が非常に大きく開かれていて、そこに面してテラスがあるということは理解できるのですが、この広い交流広場の地面の仕上げが透水性のコンクリートと書いてあります。日常的にどのような使い方をするかというのが、想像しにくいところがあります。

また、柳島スポーツ公園の方では、山並みを見せるような形で開いていて、それは海が見えないということもあるのですが、茅ヶ崎の風景の中で、富士山が見えるですとか、丹沢の山並みが見えるですとか、そのような景色を見ながらのんびりするということも人々の生活の中にあるような気がしています。それを柳島スポーツ公園のレストランの方で実現しているのかなということで、柳島スポーツ公園のレストランを利用するとき、この雰囲気がいいなと思っていたのですが、道の駅も西側が開いてることなのですが、テラスのような形で開くとか、屋外との中間領域みたいなものがあつた方が、茅ヶ崎らしいのではないかなと思うことがありまして、この辺は茅ヶ崎ならではの建て方として、どのように考えてらっしゃるのかということをお伺いしたいです。

あともう1点、植栽計画を見させていただいたのですが、具体的な樹種が書いてあって、大きなコンセプトとして、在来種を中心とした周辺環境と調和する樹種と書かれてい

るのですが、オオシマザクラやサルスベリなどは駅などで目にすることもありますが、ヒトツバタゴなど、そういったものに関しては、目にしたことがないというか、我々としてはあまり馴染みがない植栽でして、せっかく茅ヶ崎のこの広い土地を道の駅として皆さんに見に来ていただくということだとすれば、茅ヶ崎のそういった植栽関係も、未来の子供たちに、茅ヶ崎ではこういった植栽がすごくよく育って、今までこういったふうに大切にしてくださったよみたいなことを伝える場所でもあると思うので、もう少し茅ヶ崎らしい植栽というものがあるのではないかなと思った次第です。

植栽の選定について、どのように選んでいらっしゃるのかをお伺いしたいです。以上です。

#### ○水沼会長

はい、ありがとうございました。

清水委員から3点ありました。1点目は、主として市民が多く使う鉄砲道沿いの東から来た時のルートで、自転車で来た場合の駐輪の動線について。

2点目が、茅ヶ崎では屋外の暮らし方を景観計画でも重視しているところなのですが、それと関連して、交流人場のあり方、これは地面の舗装など、そういったことも含めたあり方についての現時点での考えについて。

それから、3点目が植栽計画、本当に茅ヶ崎の在来種なのかというあたりのご質問も含めてお答えいただければと思います。お願いいたします。

#### ○事業者

はい。ありがとうございます。

まず東側からの自転車についてですが、現在の計画では、地域振興拠点の南側に、まとめて100台分とるという計画になっておりますので、そうしますと、東側から来た自転車も交差点のところまでぐるっと回って停めるような形になっております。

しかし、それでは不便ではないかとの話もありますし、ワークショップの中でも、鉄砲道側に駐輪場を設置するようにとのご意見をいただいております。

そのため、そちらについては今後検討していきたいと思っております。

ただ、現在の計画も、駐輪場をまとめることによって、自転車の安全性など、車両が通るところを自転車が通ることを極力少なくするという安全面で良い面もありますので、その部分を活かしつつ、東側から来た自転車を停める場所を、例えば、鉄砲道側の出入口の間の植栽の島のところをうまく利用して整備するなど、そのあたりは今後検討していきたいと考えております。

続いて、交流広場の具体的な使い方のイメージですが、ポーラスコンクリート舗装という舗装で考えておまして、これは、コンクリートの骨材碎石を固めたような舗装になっておまして、骨材と骨材の間に、空隙があることによって、雨が降ってもすぐに水がは

けるという特性を持っています。

それによって、雨上がりなどそういった時でも、濡れにくく使いやすいというところがメリットでありますので、イベント等多様な使い方がしやすい計画になっているのではないかと思います。

日常的には、ドッグランが植栽の島にあるため、そういったところでペットと一緒に楽しんだりとか、大階段やテラスのところに腰をかけて、道の駅で買い物したものを食べて楽しんだりということが考えられます。

それから、キッチンカーなども広場に乗り入れすることができますので、そういったものでにぎわったり、また、植栽帯にもベンチなどのしつらえも行っていきたいと考えております。

そういったところで、人々が休憩したり、食事をしたりということができるような形にしていきたいと考えております。

また、西側の方に中間領域的なものとはというようなご意見がありましたので、そちらについては今後考えていきたいと思いますが、現在の計画では、内部からガラス張りになっていて、富士山、花火などの景色が望めるビュースポットということを考えております。

中間領域的に、外からそういった人の活動が感じられる場所を、西側や、駐輪場の面に沿ったところに作れないかということは、今後さらに検討していきたいと考えています。

#### ○事業者

それでは、3点目の樹種の選定につきましては、ご指摘の通りで、確かに茅ヶ崎の在来種としては、考えるとあまり多くないものになっておりますし、先ほどご意見いただきました、子供たちにも後世に伝えていけるような茅ヶ崎らしい樹種というところで、そういった意味も含めると、またさらに樹種の選定のコンセプトが足された気もしますので、今後さらに検討させていただきたいと思っております。

コンセプトとしては、周辺施設との調和を兼ねた樹種を選定し、商業施設の顔としてのハワイらしさ、茅ヶ崎らしさのようなところを表現しておりますので、コンセプトを大事にしつつ、茅ヶ崎の在来種というところで、検討を進めて参りたいと思います。以上です。

#### ○水沼会長

清水委員よろしいでしょうか。では、他にご意見ご質問ございますでしょうか。三友委員お願いいたします。

#### ○三友委員

三友です。

景観アドバイザーとして、また選定委員として関わらせていただきました。丁寧にご検討いただき、茅ヶ崎らしい施設を目指していただき、本当にありがとうございます。



このプロジェクトは、先ほどご説明いただいた通り、建物や駐車場に茅ヶ崎らしさが表れています。今後、具体的に検討するサインや椅子・テーブル等、飲食物や商品等、イベントに至るまで茅ヶ崎らしさを貫いていただけたらと思っております。

ワークショップでは、市民の方々が多くの意見を出してくださったということで、素晴らしい取り組みだと思います。外観や内装等の見た目が茅ヶ崎らしいだけでなく、そこで茅ヶ崎らしい暮らし方や過ごし方ができるかも重要です。今後もワークショップを通して市民の皆さんから意見をお聞きし、それらが叶うような施設づくりを目指していただけたらと思っております。

もう1つ資料1の10ページの配置計画についてお願いしたいことがございます。駐車場には、なみなみロードやのんびりパスといった歩行者動線が設けられています。駐車場に樹木を配置することは茅ヶ崎らしさが出て良いデザインだと思いますが、一方で樹木の形状によって、例えば低木ですと小さいお子さんが運転手から見えづらい、幹が立派ですと大人でも隠れてしまうといった危険性があると思います。特に夕方や雨天時が心配ですので、配慮していただけたらと思います。

○水沼会長

はい、ありがとうございます。

前半は全体のコンセプトについての感想というところで、後半の駐車場のあり方などを含めたあたりはいかがでしょうか。お返事があればお願いいたします。

○事業者

ご質問ありがとうございます。

のんびりパスやなみなみロードの植栽に関しては、打ち合わせ等でも議題に挙がっている事項であります。駐車場内の樹種でありますので、交差点などで人の影になってしまい、事故が起こる懸念がありますので、例えばシュロであったり、幹が高いもので、上に葉が生えるものだとか、メンテナンスで枝を定期的に刈っていく等、今後またさらに検討を進めて参りたいと思います。

○水沼会長

三友先生よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。では、私の方から。

1点目は、やはり私も東側からアプローチしたときの、この施設全体の見え方について、東側の鉄砲道からアプローチしてくると、あまりわくわくできないような気がするもので、そのあたりは、ルーバーのあり方、それからこのルーバーの最高部は6メートルの壁が並び立ちます。そのあたりのあり方を、ぜひ東側から市民が来ても楽しくなるように、よくご検討いただきたいと思います。

できることは限られているかと思うのですが、やはり東側の顔、東側から来た場合の北側の顔をどうするのか、この施設が茅ヶ崎市のどのような顔となるのかという点でも重要

かと思うので、これは先ほども回答されていたので、私の意見として言わせていただきます。

それから、南側の近隣施設ということで、柳島キャンプ場だとか、柳島しおさい公園の話がされていましたが、この国道は横断できないんですよね。道の駅から国道を横断して南側に行くことは、今の時点では想定されてないですよね。交通上も危ないですよね。

そのため、そのあたりを行かせない工夫について、子供がいると近くの公園に行ってみようとか、海まで見てみようとか、そういうことに対してどのような対応をお考えなのか、今の時点であればお聞かせいただければと思います。

#### ○産業観光課

今のご意見のとおり、国道は道の駅の西側に柳島向河原交差点がございますが、その横断歩道を使わないと行けない現状になっております。

また、柳島スポーツ公園との間も、同様に同じ交差点で西側に渡らないといけなく、どうしてもそこは横断歩道を使わないといけない状況です。

そのため、公園に行きたいというときは、西側の柳島向河原交差点を渡って柳島スポーツ公園へ、またそこから歩道橋を利用して、柳島しおさい公園へ向かうということになりますので、そちらのスムーズな案内ができるように、道の駅単体、さらには各施設管理者と協議をしたうえで、連携を図っていきたいと考えております。

また、海までは歩きだと少し遠いため、例えば、市内回遊の一つとしてサザンビーチ周辺まで、楽しみながら向かえる案内を行ったり、ソフト面で対応できればと考えております。

#### ○水沼会長

ありがとうございます。昨今、やはり横断をしてはいけないところを人が渡って、事故が起こるというようなことを、特にインバウンドを含めた観光客の行動パターンとしてあるようなこともよく聞きますので、やはり近隣施設としてこういうものがあるということを知れば周知するほど、懸念というものが生まれてくるような気がしますので、これは景観のこととあまり関係ないかもしれませんが、全体の作り方と関係していきまので、申し上げさせていただきました。

他にいかがでしょうか。特によろしいようでしたら、この道の駅に関する報告を終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、報告（１）道の駅整備事業についての質疑を終了します。担当課の皆様、ご関係の皆様はご退席をお願いいたします。ありがとうございました。

続きまして、議題（１）２０２２年度茅ヶ崎市景観計画年次報告書について、事務局から説明をお願いいたします。

## ○事務局

茅ヶ崎市景観計画年次報告書についてご説明いたします。資料は資料2となります。

今回、年度最初の審議会の出席が初めての委員もいらっしゃいますので、こちらの年次報告書について、簡単にご説明いたします。

現在の景観計画の策定について過去の審議会でご審議いただいている中で、委員の高橋先生から、ファクトシートをご紹介いただきました。ご紹介いただいたファクトシートとは海外の事例で、課題に対応した成果を分かりやすく伝えるものとなります。

そのファクトシートを参考にしまして、景観計画の進行管理の年次報告書を作成し、年度最初の審議会で報告することとしています。

資料の2ページをご覧ください。こちらには、報告書の位置づけ、また計画の評価における検証方法について記載しております。

新型コロナの影響により、令和2年度から審議会は議題案件のみとするという決まりがあったため、昨年度は3年分の報告をまとめて行いました。

今年度以降は、当初の予定通り、1年ごとに報告をさせていただきます。

また、今回から新たにサインに関する事項、景観まちづくりの推進の2つの項目を報告事項に追加しました。

それでは、報告に入らせていただきます。

3ページをご覧ください。景観計画では、市域を4つのゾーンに分けております。

報告書では、4つのゾーンごとに、それぞれ実施した事業の紹介、景観ポイント、眺望点の定点観測の結果、過ごし方調査の結果を報告するという構成になっています。

4ページをご覧ください。報告項目の1つである定点観測とは、景観計画の基本目標の1つである「景観資源と眺望を守り、継承する」という目標の達成度を測るために実施しています。一定の場所について、毎年同じ時期に撮影を行い、景観が守られているかを評価しています。

前回の報告から変化が見られたところがありますので、そのようなところは変化した点について記載しています。

5ページをご覧ください。過ごし方調査とは、景観計画の基本目標の2つである「屋外の生活を楽しめる空間をつくる」、「茅ヶ崎の価値・魅力を体感できる機会を創出する」ことが達成されているかを把握するため実施するものです。

整備した公共サインや公共施設の利用者がどういった行動をしているのか、景観みどり課の職員が現地に赴き、利用者の追跡調査や行動観察を行うものです。

それでは、地域ごとの内容についてご報告いたします。

まず、北部丘陵地域景観ゾーンについて報告いたします。10ページをご覧ください。

北部丘陵地域では「浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア」のちがさき景観資源への指定と、中部地域景観ゾーンとまたがって、香川駅前の過ごし方調査を実施しました。

過ごし方調査については、中部地域景観ゾーンの説明の際に報告いたします。

まず、「浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア」のちがさき景観資源の指定について報告いたします。11ページをご覧ください。

こちらは、昨年度に当審議会でも諮問・答申いただいた内容となります。

指定したエリアには、昨年度の夏に茅ヶ崎市博物館が開館し、周辺には市重要文化財・市重要景観重要建造物である旧和田家、旧三橋家があります。

茅ヶ崎市の歴史文化を発信する拠点とされることから、ちがさき景観資源として指定するに至りました。

指定するにあたって、委員の皆様からは今後のにぎわいの創出の検討や、プロモーションについてご意見をいただいております。

こちらの報告書は令和4年度の内容のため記載していませんが、このエリアについての情報発信として、市で発行している広報ちがさきにて「浄見寺周辺の歴史・文化交流エリア」について写真とともに紹介する記事を掲載いたしました。今後もSNS等を用いて、市内外の方に魅力を発信できるようにしていきたいと考えています。

続いて、13ページをご覧ください。13ページからは定点観測について報告していません。

変化がみられる箇所として、13ページ1段目の里山公園からの富士山について、里山公園内の竹林の繁茂により、富士山の眺望が阻害されていたため、管理者に伐採をしていただきました。こちらは15ページにある眺望点も同じ場所のため同様の内容を記載しております。

14ページ2段目の浄見寺周辺については、7月に博物館が開館しました。3段目の市民の森については、木のすべり台が経年劣化のため撤去されています。

続いて19ページをご覧ください。中部地域景観ゾーンの報告を行います。

中部地域では、先ほどの北部丘陵地域景観ゾーンとまたがり、香川駅前の過ごし方調査を実施したため、過ごし方調査の報告と、定点観測の報告を行います。

また、こちらのゾーンでは昨年度の当審議会にて、駒寄川の景観重要公共施設の指定について答申・諮問を行いました。

今年6月に都市計画審議会に諮り、指定に至ったため、駒寄川については来年度に2023年度年次報告書にて報告いたします。

最初に定点観測の報告をいたします。20ページをご覧ください。

20ページ3段目の鶴が台については、前年度に引き続き、各街区の外観の塗り替え工事が行われています。また、写真には写っていませんが、令和2年度から付近で行われていた共同住宅の7階建ての新築工事が完了しています。

21ページ3段目の萩園について、令和2年度からコスモスを植えていた活動が休止されています。景観計画に載せている写真のようにコスモスが写る景色ではありませんが、この景観ポイントの方針である田畑が広がる景観の保全について、引き続き景観形成を図っていきたいと考えています。

次に23ページをご覧ください。23ページからは過ごし方調査について報告していません。

茅ヶ崎市博物館の開館に合わせ、令和3年度に下寺尾・堤地区に香川駅を起点とする公共サインを整備しました。今回は公共サイン整備後の利用状況の調査を実施しました。

調査は11月の平日・休日の2日間、両日とも10時から15時まで実施しました。

こちらは、令和2年度に整備前調査を実施しています。整備前調査の際には、スマートフォンの地図を頼りに歩いているような人や、住居表示街区案内図を見ている人がいました。

今回の整備後調査では、平日25人、休日41人の利用者を確認することができました。利用者は駅から降りてくる人だけではなく、駅を利用するために香川駅へ訪れた人や、散歩中に公共サインの前を通過しようとする人も、足を止めて公共サインを見ていました。

追跡調査では、平日・休日ともに香川駅から北方面にある熊澤酒造に向かう姿が多くみられましたが、休日には博物館や白峰寺など、香川駅から離れた目的地に徒歩で向かう利用者も見られました。

まち歩きマップを見ながら、目的地までの経路を指で辿って確認を行う、スマートフォ

ンでマップを撮影するなど、目的地以外の施設も利用者の目に入り、公共サインが市内外の人に北部の魅力を知ってもらう役割を担っていると感じました。

続いて海岸地域景観ゾーンについて報告します。27ページをご覧ください。

こちらの地域では、定点観測について報告いたします。

30ページをご覧ください。1段目の茅ヶ崎公園歩道橋について、国道134号以南の茅ヶ崎市海岸漁港周辺特別景観まちづくり地区にて、4階建て店舗の建築が完了しています。なお、眺望点に影響はありません。

31ページの2段目浜見平団地では、浜見平グラウンドの防球ネットの建築が完了しました。こちらについては、令和3年度に当審議会で諮問いただき、富士山の眺望を考慮して設置したものです。

最後に中心市街地景観ゾーンについて報告します。34ページをご覧ください。

こちらの地域でも、定点観測についてのみ報告いたします。

35ページをご覧ください。1段目の茅ヶ崎駅北口について、当審議会でも諮問いただいた医療施設の新築工事が完了いたしました。

3段目の市役所周辺（中央公園から市役所方面）については、今年の7月にホテルがオープンしましたが、報告書時点では工事中の写真となっております。

次に今回から追加したサインに関する事項について報告いたします。38ページをご覧ください。

景観計画の中で、公共サインに関する基本方針として、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、住む人や訪れた人が茅ヶ崎で過ごす時間や生活を楽しむことのできるように「歩きたい、出かけたが」と思える公共サインが整備されるように定めています。公共サインも茅ヶ崎の景観形成要因の1つであるため、新規の設置や、設置後の維持管理について報告することといたしました。

令和4年度は新規の公共サインの設置はありませんでした。維持管理については、2か所の修繕工事を行いました。39ページをご覧ください。

1か所目は、サザンビーチに設置している公共サインについて、支柱表面の劣化が確認されたため、塗装を行いました。

こちらの公共サインは海岸に近接し、強風による砂塵等が激しいことから、劣化が促進しやすいと考えられるため、引き続き適正な維持管理を務めます。

次に40ページをご覧ください。2か所目は茅ヶ崎駅北口に設置している公共サインです。こちらは、バス時刻表の透明防護板の破損が確認されたため、防護板の交換を行いました。

バス時刻表が更新されるたびに、防護板を着脱しており、その際に誤って落下させてしまい破損したと考えられます。強度を上げるために材種をアクリルからポリカーボネイトへ変更しました。こちらも引き続き適正な維持管理に努めます。

最後に景観まちづくりの推進についてご報告いたします。42ページをご覧ください。

こちらから今回から新たに年次報告書に追加した報告項目となります。

計画の中で、景観というものは行政だけではなく、市民の方や事業者の方との協力が必要であると示しています。

年次報告書は、市ホームページでも公開するため、景観まちづくりの推進について、市民の方や事業者の方と共にどのような内容について協議し、協力をしているのか周知する手段の1つとして、報告書に掲載することとしました。

それでは、景観まちづくりの推進について報告に入ります。

令和4年度は、景観まちづくり審議会、景観まちづくりアドバイザーの派遣、情報共有を実施しました。

1つめの景観まちづくり審議会は、当審議会となりますので説明については割愛いたします。

2つめの景観まちづくりアドバイザーについては、当審議会の水沼会長を始め、高橋委員、三友委員、荒井委員などの専門家の方々に、景観まちづくりアドバイザーに登録していただき、まちづくりに関わる施策、景観協議、市民や事業者の方が行う景観まちづくりなどに対して助言等を行っていただいています。

令和4年度は、1組の市民団体と庁内の2課の所管する事業に景観まちづくりアドバイザーを派遣し、助言をいただきました。

43ページからは、各アドバイザー派遣について、助言を求めた課題や、いただいた助言について掲載しております。

最後に情報共有については、SNS等を活用した景観まちづくりについての情報配信となります。

これまで、Facebookにて景観ポイントの紹介等を行っていましたが、令和4年

度に新たにInstagramを開設し、当課のみどり担当と合わせて、幅広い年代に向けて情報発信を行っています。広報紙にアカウントのQRコードを掲載したり、採用者向けの説明会で紹介するなど周知を行い、市内の景観について多くの方に知っていただけるように活動しています。

以上、年次報告書の説明となります。

#### ○水沼会長

ありがとうございます。ただいま説明がありました。それでは質疑に移ります。

議題（１）「２０２２年度茅ヶ崎市景観計画年次報告書について」何かご意見、ご質問等はございますか。清水委員、お願いいたします。

#### ○清水委員

報告、どうもありがとうございます。

私は初めて報告書を見るので、わかっていないところがあるかと思うのですが、素朴な質問として、聞いていただければと思います。

眺望点などの定点観測の写真について、比較をして、風景が損なわれていないかというご報告がありますが、その中で、例えば、２１ページについて、一番下の写真は富士山が見えるという景色を映しているのかなと２０２１年の時点の写真では思うのですが、２０２２年の時点の写真になると、天気が悪いので、富士山が見えないような状況になっているので、その時に、これを実施した目的というものが、達成されていないのではないかと思います。その他にもいくつか天気によって、目的が達成されていない部分があるのではないかと思いますので、その部分については、もう２０２２年は撮れないと思うので、今後報告の中で補足していただければと思います。

もう１点、過ごし方調査を行っている部分で、公共サインについて、なぜこういうことを実施するのかと説明がある部分について、整理前後の比較をすると述べられているのですが、この調査結果を見ると、前後の比較をしているという記述が見つからないと思いましたが、ここに設置したことに対する結果のみで、何か良いことがあったかとか、そういったことについては少し分かりづらいつ感じました。

また、香川駅を利用されている方がどれくらいいて、その中で、どれくらいの方が公共サインを見て、これが有効となるのか、調査結果の内容の報告として、そのような結果が知りたいと思ひまして、そのような内容を追加することはできるのかなと思ひました。以上です。

#### ○水沼会長

ありがとうございました。

写真について、これは想像すると、なかなかマンパワーの問題であるとか、決められた



期間の中でやるかなとは思うのですがいかがでしょうか。

○事務局

ご意見いただきありがとうございます。

写真につきましては、会長のおっしゃるとおり、私たちの方でなるべく天気の良い日を選んで、外に撮影に行っているところではあるのですが、時期によっては、前回と同じような写真を撮ることが難しいということもありますので、おっしゃっていたように写真を差し替えることは難しいので、そのような場合については次の報告から補足を行うなどして、対応していきたいと思えます。以上となります。

○水沼会長

それから、サインについてのご報告についてのご質問ですが、いかがでしょうか。

○石下主幹

お答えいたします。

公共サインにつきましては、設置前、設置後の比較についてというご質問でしたが、香川駅につきましては、事前の段階で、今のものに代わるサインがあったわけではなく、何も案内板がないところに対して、今回設置をしたものになります。設置した現地に職員をあてまして、その後ご覧になられた方がどのような行動をとられたのかという調査を実施したものでございます。そのため、何もない状態であったところに、新たに設置したうえで、設置されたものに何も興味を示されないという可能性があったかもしれないところが、実際に我々が観察してみたところ、報告書に記載しているように、サインをご覧いただいたうえで、いろいろなところに足を向けていただいたことが確認できたという結果が正直なところでございます。

以前に、例えば茅ヶ崎駅前で実施した調査では、もともと古い別のサインがあった状態と、新しく設置した場合を比較して、事前事後という形でご報告差し上げたケースもあるのですが、今回の香川駅につきましては、事前に何もない状態であったものですから、報告書への記載としては、このような形となりました。

もう1つご質問のありました、実際に母数に対してどのくらいの人が利用しているのかというお話も頂戴しましたが、母数のカウンターを打ちながらという調査方法よりも、サインをご覧いただいた方が、どういった行動を取るのかというようなことを、主眼を持って調査しています。そのため、今回は実際の乗降客数の皆様の母数のカウンターについては、人工が回らずというところがあり、割愛させていただきました。

香川駅の平均乗客数など、何かしらの集計等はあるかと思えますが、日によって波もあると思われるため、不確定な数字を引用して、実際こうだったと示すことは、また違う観点のものになってしまいかねないので、今回足りないところをご指摘いただいたとおりに思うところではありますが、無理に母数をどこからか引用するというのは、控えさせてい

ただきたいというような認識でございます。以上でございます。

○水沼会長

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

○清水委員

事前の際には何もなかったという話ですが、先ほどのご報告を聞いていると、スマートフォンを見られていたような方がいらしたから、設置したということですね。

そのあたりを少し触れていただくということでも、設置前後で何が必要だったかということがわかるので、いいのかなと思いました。

○水沼会長

よろしいでしょうか。他にいかがでしょうか。では高橋委員お願いいたします。

○高橋委員

報告ありがとうございました。だいぶ実施したことがわかりやすくなったというのが率直な印象でした。

先ほど清水委員からもご指摘があったとおり、写真ですね。やはり木が減っているとか、実際に悪くなった部分は仕方ないのですが、天気が悪くてマイナスイメージが生まれることはもったいないと思いました。

あとは文字について、例えば18ページがぱっと見たときに読みづらい印象がありまして、このあたりの読みやすさなどは高められるかなと思った次第です。

細かく言えば、例えば43、44、45ページのアドバイザー派遣の報告も、書き方を統一した方がいいかなという印象がありました。

また、以前に総括的なもの、締めがほしいというご指摘をさせていただきました。

当然行ってきたことを書くということが大事であるのと、要約を作るということではなく、この報告書を見た方が、次のアクションを起こすとか、次にこういうところも見てみようと思うような、そういったことを引き出してほしいと思います。

たとえば、締めのページに、茅ヶ崎市の景観まちづくりが大事にしていること、例えば基本理念などをもう一度挙げて、より細かい今後の活動を知りたい方は、茅ヶ崎市ホームページのこういうところを見てくださいと、そういった形で締めくくってもいいのではないかな。

報告書を見て、やってきたことを見て、そのあと一歩踏み出してくれるような、そういった締めくり方をお願いできればと思います。以上です。

○水沼会長

ありがとうございました。いかがでしょうか。

○石下主幹

ありがとうございました。

事務局として、率直な感想ですが、昨年度実施した中間評価、今後予定しております計画最終年度の総括評価、そのようなところで評価を実施して、年次報告書については、あくまで現状の報告であって、1年で変わっていく部分が少ないという認識でいたため、締めの部分の評価が毎年同じようなものになってしまうかなどの認識でいました。

ご意見いただいた中で、年次報告書の各報告の部分が、計画の中のこのような部分に繋がっていて、計画をご覧いただくと、それに紐づいてこういった報告になっているんだなという形のご案内のようなものは、確かにあった方がいいと思いました。

そういったところにフォーカスした最後の締めのような形のものを、できたら付けさせていただいて、また次の年に繋げていければと考えております。

#### ○高橋委員

ここからさらに、5ページ10ページ書くという話ではなくて、本の帯のような、観光パンフレットの最後に書いてあるスローガンのような、詳細を知りたい方はこちらご覧くださいと送り出すのと同じぐらいの感覚で良いと思います。ここまで書いたものを見て、1番最後に理念に立ち戻って、それを記憶にとどめる。あくまで景観まちづくりは、市民の方も動いていかないと、形にできないことがたくさんありますので、見た人の火をつけるような締めくり方をお願いできればと思いました。

#### ○水沼会長

ありがとうございます。

後ろでなくても、最初に何をしたのか、どういった報告書であるか記載がありますから、その最後にでも書いてしまうというのも1つありますよね。

それだけ見ると、後ろは1つ1つの事例が挙がっているけれども、今年度はどうだったのかということ、簡単にまとめて書いてしまうのも、全体像が何となく把握できるというやり方もあるのかと思うので、もしも、今年度はこのままだとしても、来年度からそういった方ことができるようにご検討いただければと思いました。

他にいかがでしょうか。ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。特にご意見ご質問ないようです。

それでは、年次報告書について、写真については確かにできる範囲で改善をしていただいて、誰に向けた年次報告書かということを考えて、わかりやすい表記とし、今年度の成果をわかりやすく表記していただきたい。せっかくだって行っている観察など、事前事後で比較するという事は、あまりやられていないことなので、大変な手間をかけて、時間をかけて行っていっしょにすることがわかりやすく表現されるといいかなと思いました。いろいろな努力に対して、感謝をする次第です。

それでは、続きましてその他です。事務局から何かございますでしょうか。

#### ○石下主幹

はい。

それでは事務局より1点ございますので、説明をさせていただきたいと思います。

お配りの資料の3番の資料をご覧ください。今年度の当審議会のスケジュールのご案内となります。

次回審議会は、12月19日火曜日9時30分より、会場は本日と同じく、こちらの会議室で開催いたします。

議題につきましては、本日報告のありました「道の駅整備事業について」の諮問、報告案件といたしまして、「街なみ環境整備事業の事後評価」の2件を予定しております。

また、今年度は資料3にございますとおり、公共施設の整備について、いくつか議題が予定されているため、議題が追加される場合もございますので、ご承知おきいただきたいと思います。

第2回目の開催につきましては、改めて開催のご案内を差し上げますので、よろしくお願いいたします。

第3回目につきましては、年が明けて来年2月に予定をしております。今後日程調整を行いますので、お忙しいところ恐縮でございますが、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○水沼会長

ありがとうございました。以上をもちまして、本日の議題は終了いたしました。委員の皆様ありがとうございました。

これをもちまして、令和5年度第1回茅ヶ崎市景観まちづくり審議会を終了いたします。ありがとうございました。